



コメリグループ 株式会社ビット・エイ

*IBM PureData System for Analytics*で
情報基盤を刷新し、
定型および非定型のクエリーの
パフォーマンスを劇的に向上

お客様情報



株式会社コメリ

●本社所在地

〒950-1457 新潟県新潟市南区清水4501-1
<http://www.komeri.bit.or.jp/>

DIY用品や園芸用品を核商品として、ホームセンター(HC)とハード&グリーン(H&G)を展開するチェーンストア。独自のシステムとノウハウで、お客様が必要とする商品をリーズナブルな価格で安定的に提供することを目標に、流通の近代化にチャレンジしている。今後に向けてもお客様の立場に立った店づくり、お客様の声を反映した品揃え、お客様に喜んでいただける接客サービスを心がけ、「豊かで快適な暮らし」に貢献していくことを自らの使命とする。

ホームセンター大手の株式会社コメリ(以下、コメリ)は、近い将来に向けて店舗数を現在の3倍近い約3,000店舗に拡大する計画を立てており、急増するデータを高速に処理することができる情報基盤の実現を目指し、データウェアハウス(以下、DWH)およびビジネス・インテリジェンス(以下、BI)環境を刷新しました。その中核となるプラットフォームとして導入したのがIBM® PureData System for Analyticsであり、クエリーのパフォーマンスを劇的に改善。需要予測や商圏分析などの精度を高めるほか、最新の店舗在庫をリアルタイムに参照できる機能を実現し、ビジネスをスピードアップしました。

ログイン性能の著しい低下、 検索処理のレスポンス遅延などで業務が停滞

コメリは、ホームセンター業界の中で国内最大の店舗網^{*1}を展開するチェーンストア企業です。住関連商品のジャンルで、とりわけプロの建築業者・農業従事者向けの資材・建材に強みを持ち、出店地域のお客様から支持されています。さらに業界では類を見ないスピードで出店を増やし、事業を拡大しています。

同社の成長をITの面から支えてきた情報系システムは近年、業務データの蓄積が進み、店舗増に伴ってユーザー数も増加。その影響で、DWHの性能低下という問題が顕在化していました。

コメリグループのシステム開発と運用を担う、株式会社ビット・エイ(以下、ビット・エイ)の小林 禎氏は、当時の状況を次のように話します。

「ログイン性能が低下し、週明け月曜のような負荷のかかる状況では1時間以上待たされるケースもありました。この時間ロスを回避するために、朝6時に出社してログインを行う社員もいたほどです。データベースの検索処理性能も、徐々に低下していました。DWHの定型メニューをクリックしても数分間待たなければならず、そのたびに社員の業務が停滞していたのです。夜間バッチ処理も長時間化しており、翌朝のサービス開始に支障が出ていました」

さらに、部署ごとにデータの集計や計算を行っていたことから、ローカルな帳票があちこちに出回るという弊害もありました。このような問題の解決を図るため、同社は2013年4月より、情報系システムの更改を計画しました。



事例概要

課題

- 急増するデータを高速処理できる情報基盤の実現

ソリューション

- IBM PureData System for Analytics

期待される効果

- ログイン、検索処理時間が劇的に改善
- 商品カテゴリー移し替えに伴う洗い替え処理を迅速に実行可能
- 店舗在庫の最新状況を参照できる機能を利用可能
- 優良顧客に関するデータ分析、マーケティング施策を実行可能

洗い替え処理の円滑な実行を可能にする 高速処理性能が、選定の決め手

コメリグループは全国に1,169店(2015年3月末現在)展開している店舗を、近い将来のうちに約3,000店まで拡大したいと計画しています。したがって新しい情報系システムの核となるDWHの要件は、データ量が現行の3倍程度に増加してもパフォーマンスが低下しないことでした。なおかつ、定型メニュー画面やBIツールの業務レスポンスが改善できることを重視しました。

また、今後の需要予測や商圈分析の精度を上げていくため、今回のシステム更改を機に、業務データの保持期間を2年から5年に拡大することも決定しています。つまり、過去5年分のビッグデータを自在に扱えることも、DWHの必須要件でした。「ホームセンターという業種は、市場の状況に応じて商品カテゴリーを移し替える場合があります。その際、商品ごとの過去の集計データすべてに洗い替え処理をかける必要があり、大変な工数がかかっていました。そこで新しいDWHには、この煩雑な処理を高速で実行できる性能が不可欠だったのです」と、小林氏は語ります。

その選定にあたっては、IBMからもたらされた新製品情報が決め手になりました。「IBM PureData System for AnalyticsというDWHアプライアンス製品の最新バージョンでクエリーのパフォーマンスが大幅に向上し、これによって、洗い替え処理の円滑な実行をはじめ、われわれが思い描いていた素早いレス

DWHアプライアンス「IBM PureData System for Analytics」とBIツール「MicroStrategy 9」を連携させた、株式会社コメリ様の新しい情報系システム (イメージ図)



“IBM PureData System for AnalyticsというDWHアプリケーション製品の最新バージョンでクエリーのパフォーマンスが大幅に向上し、これによって、洗い替え処理の円滑な実行をはじめ、われわれが思い描いていた素早いレスポンスと、臨機応変な運用が可能になると確信できたのです”



コメリグループ
株式会社ビット・エイ
取締役 統括部長
小林 禎氏

ポンスと、臨機応変な運用が可能になると確信できたのです」(小林氏)

BIツールの導入にあたっては、ユーザーへのサービスレベルの向上を目的に、MicroStrategyを選定しています。「業務に必要な機能や帳票を、ビット・エイで迅速に開発できるようにしたかったのです。以前のBIツールでは、ユーザーから依頼を受けて新しい帳票を作成し、新しいメニューを追加するまで3カ月程度かかるがありました。そこで、その期間を1週間に短縮することを目標に掲げ、これを実現するための最適なツールがMicroStrategyだと判断しました」(小林氏)

IBM PureData System for AnalyticsとMicroStrategyを連携させた新しい情報系システムの構築を依頼するベンダーには、日本電気株式会社(以下、NEC)が選ばれました。NECは、IBM PureData System for Analyticsの構築で国内No.1の実績を持ち、MicroStrategyについても専任の営業・サポート部隊を組織化しています。こうした点を踏まえて小林氏は「SEの技術スキルが優れている」ことを評価。加えて「運用・保守サポートの体制にも、信頼感がありました。NECは、われわれコメリグループの事業展開をITの面からトータルで支えてもらえる、安心できるパートナーだという認識を持ちました」と話します。

検索処理時間の、劇的な改善効果。 リアルタイムで店舗在庫を参照できる新機能が CS向上に寄与

コメリの新しい情報系システムは、2014年1月から本番稼働を開始。過去5年分の店舗別・単品別販売データをはじめ、各店舗の在庫データ、カード会員^{※2}の購買データと属性情報、オンラインショップの販売データなどを統合。大量のデータを多面的・網羅的に分析できるプラットフォームとして、本部および全国の店舗に勤務する約3,000人に活用されています。

新システムでは、検索処理にかかる時間が劇的に改善されています。「定型化された検索なら、メニューをクリックすれば1秒程度で結果が得られ、複雑な処理を行う非定型検索の画面でも5~10秒で結果が得られるようになっています」(小林氏)

ログイン性能については、負荷状態が高い時でも3秒程度で完了しています。「無駄な待機時間が無くなったことで、社員は本来の業務に集中できるようになりました。また、5~6時間かかっていた夜間バッチ処理は現在、30分程度で終了します。商品カテゴリー移し替えに伴う洗い替え処理も、きわめて迅速に実行できます」と、小林氏は語ります。

また、基幹系システムから提供される店舗在庫のデータファイルを2時間おきにIBM PureData System for Analyticsへ取り込み、MicroStrategyで最新の状況を参照・分析できる「店舗在庫参照機能」が、新たに追加されています。「ホームセンター業界では、当社が初めて実現した機能です。お客様は、どのお店に行けば欲しい商品の在庫があるのかが、あらかじめインターネットで検索でき、お取り置きも可能です。利便性が上がったことでお客様から好評をいただいております。またわれわれにとってもチャンスロスが少なくなっています」と、小林氏は強調します。

同社では現在、この新しいDWHのプラットフォームを活用し、優良固定客の維持・拡大を図るマーケティング手法のひとつであるFSP(Frequent Shoppers Program)に注力しています。「たとえば、オンラインショップと店頭販売のデータを統合して分析できるようになったことで、従来は把握が難しかった年間購入金

お客様情報

株式会社ビット・エイ

●本社所在地

〒950-1457 新潟県新潟市南区清水4501-1

<http://www.bit.or.jp/>

コメリグループで培ってきた各種情報処理、ソフトウェアの開発、運用業務、流通業向けシステムの開発・運用ノウハウを活かし、近年は外販ビジネスにも注力。POSシステム、物流システム、オンラインショッピングシステム、Web-EDIシステム、勤怠管理システムのパッケージソフト構築・販売、人事・給与・経理システムの開発、アウトソーシングによる運用支援のほか、Web-DTP制作、機器導入サービス、教育サービスなどの事業を展開している。

額の大きい優良顧客をカード会員様の中から抽出し、ポイントのランクを上げるなど、サービスや特典を提供できるようになったのです」(小林氏)

スマートデバイスとの連携を強化。 蓄積データを予測分析に活用し、新たな事業機会を創出

各部門が独自に作成していた帳票類は、システム更改を機に、ビット・エイが開発・提供する定型メニューに集約しています。その一方、マーケティングを担うプロジェクトのメンバーには、非定型の帳票をMicroStrategyで自由に作成できる権限が与えられています。多様な切り口からの顧客分析や売上分析、新規出店を目的とした近未来のシミュレーションなど、活用が広がっています。コメリグループが元々もっていた分析の文化を、DWHやBIが後押しする形で新たな展開が始まっているのです。

ビット・エイは今回整備された情報系システムを、基幹系システムと同等の、クリティカルなITプラットフォームとして位置づけています。

「近い将来に3000店舗の体制になっても問題なく稼働し、高速なDWHとして運用できると確信しています。スマートデバイスとの連携もいっそう強化し、業務のレスポンスを上げていく考えです。蓄積データを予測分析に活用することで、世の中の変化を的確にとらえ、新たなビジネス・チャンスを開拓していきたいですね」と、小林氏は将来を展望します。

※1 2015年3月末現在、1,169店舗。

※2 グループ企業の「株式会社コメリキャピタル」が、カード業務を担っています。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

© Copyright IBM Japan, Ltd. 2015

All Rights Reserved

05-15 Printed in Japan

IBM、IBMロゴ、ibm.com、およびPureDataは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

このカタログに掲載されている情報は2015年5月のものです。事前の予告なしに変更する場合があります。

本事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は初掲載当時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があることをご了承ください。

事例は特定のお客様での事例であり、すべてのお客様について同様の効果を実現することが可能なわけではありません。

製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。